障がい者基幹相談支援センターだより No.12

～防災への取り組みについて～

今年度は、避難行動要支援者台帳へ登録している方の中から、石和町八田地区と春日居町小松地区の身体障がいのある方に、地元の防災訓練に初めて参加していただきました。

訓練では、登録名簿を基にした本人の安否確認や避難誘導が行われました。当事者の方は地域の方のこと、地域の方は当事者の障がいのことなどをそれぞれ知ることができ、実際に災害が起こったときはどう対応すればいいかを考える良いきっかけとなりました。

市では、災害時の備えとして避難行動要支援者台帳の登録や救急医療情報キットの活用をお勧めしています。

避難行動要支援者台帳

災害などが発生した際、地域で台帳に登録している方の登録情報を基に安否確認や避難誘導を行います。

救急医療情報キット

かかりつけ医や処方薬、緊急連絡先などが記載できる救急医療情報シートを保管する筒状の容器のことで、普段は冷蔵庫に保管しておきます。情報シートにはさまざまな情報を書き込むことができるので、救急時だけでなく災害時にも自分のことを伝える際に有効活用できます。

救急医療情報キット

小松地区、訓練避難の様子

■問合せ先　市障がい者基幹相談支援センター
☎055(262)1274